

JREU TOKYO 業務部速報



2025.06.15 No.085

発行：JR東労組東京地本 業務部

東地申第10号

「2024年度営業関係施策(その2)について」及び 「2024年度営業関係施策(その3)について」

団体交渉を行いました①

【共通】

1. 今施策によって「安全」が向上されるのか具体的に示すこと。

【回答】車掌用のITVの整備による乗務員の視認性確保、駅内情報拠点の整備による異常時対応力の向上等により、安全・安定輸送を確保していく考えである。

(組)視認性確保とは？

(会)高解像度ITVにより画質も上がり人がはっきり映っている

(組)異常時、とくにホーム混雑時などの対応は？

(会)必要に応じて乗降終了表示を出す場合は現場で調整が可能

(組)提案資料に「安全」が明記されていない。「安全」は経営のトッププライオリティではないのか

(会)全ての駅で安全レベルを低下させることはない。土台となる安全・サービスを確保していく。 **確認**

2. 今施策によって「サービス(レベル)」が向上されるのか具体的に示すこと。

【回答】ホーム業務の働き方を改革することで、人ならではのきめ細やかな対応ができるようになり、お客さまサービスの向上に繋がるものと考えている。

(組)人ならではのきめ細やかなとは？

(会)輸送障害時の案内や乗換案内、車内清掃や介助などの案内

(組)人が減るのにサービスレベルは向上するのか

(会)輸送障害時の乗換放送や情報提供、車内清掃など(今までとは)提供の形は変わるが、今までできていたことができなくなることや対応レベルが低下しないように準備を進めていく。 **確認**

3. 車掌用ITVをワイド縦型に変えてきた経過および成果と課題を具体的に示すこと。

【回答】ホームの形状等を踏まえた車掌用ITVを整備してきたものである。なお、高解像度の車掌用ITVを導入することにより、視認性の向上を図ってきたところであり、引き続き状況を把握していく考えである。

(組)視認性とは？

(会)ホームが細長い、ドアに乗り込むお客さまが挟まっていないか見えること。

高解像度ワイドを縦型にしたことでより視認性が上がった。

ホントに「安全」と「サービス」が低下しないのか しっかり検証していきましょう！